

サンディエゴ日本人教会トピックス【2017年11月】

日増しに寒さも加わり、特にサンディエゴの朝夕は真冬のような気温です。ここアメリカでは11月は感謝祭の月なので、この一年の間の色々なことへの感謝を捧げつつ、家族が集まったり、教会でも楽しい祝い会を楽しみました。

この教会を長い間、牧会されて居られた吹上信一先生が9月24日に天に召され、セレブレーションの時が11月4日にアナハイムにあるウインタースバーグ長老教会でもたれました。多くの教会員が先生を偲び最後のお別れのときを持つため駆けつけました。教会でも婦人会で吹上先生を偲び、懐かしい思い出を語る時を持ちました。

その後、皆さん、いかがお過ごしですか。神様の豊かな御祝福をお祈りいたします。今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

1. 杉田政志牧師をオハイオ州から迎えて
2. サンクスギビング・イブ・サービス
3. サンクスギビングデー・ディナー・パーティー
(ヴォート兄弟宅にて)

1. 杉田政志牧師をオハイオ州から迎えて

11月10日(金)オハイオ州コロンバスにあるダブリン・バプテスト日本語チャペルより杉田政志牧師をお迎えして特別集会を持ちました。先生はオハイオ州近辺のケンタッキー、ミシガン州など、広い範囲にわたり巡回伝道をされて居られます。

今回のメッセージは、「魂の開放」と題して、内なる人を喜ばせなさいと、優しく分かりやすくお話されました。「いつも喜び、常に祈り、すべてのことについて感謝しなさい」のみ言葉から笑顔の大切さいつも感謝し、喜びの生活を送り、魂を喜ばせることは、あなたの内なる人が、高められることです。主の栄光をあらわす者となりなさい。そして、毎日の生活の中で自分の笑顔が、習慣になるようにと、メッセージを頂き、内なる人をもつことを大切さを教えて頂きました。

集会のあと、みなさんの持ち寄ったポトラックランチを頂き、とても良い交わりの時が与えられ、感謝な集会となりました。

2. サンクスギビング・イブ・サービス

11月22日（水）夜7時より日英合同の感謝祭イブ・サービスが持たれました。少し寒い夜でしたが、皆さんお子さん連れで来られる方々もあり、会堂いっぱいの方が集まりました。

詩篇 107:1 「主に感謝せよ。主は恵み深く、その慈しみは、とこしえに絶えることがない」と日英両語でオーバーヘッドに写され、日本語では大倉信先生は3つのポイントからメッセージを語られました。

1. 自覚的に、心で感謝する。
2. 感謝を継続する。
3. 感謝を口に出す。

等、感謝するという事は当初は訓練の範疇にあるということが話されました。しかし、その感謝を意識的に継続していきまると、それはやがて私達の習慣となり、人生が変わります。それは何にも代えがたい私達の人生の祝福となりますとメッセージを頂きました。

英語では本多一米先生は It is well all my soul と題してメッセージを取り次がれました。み言葉は詩篇 103:1, 2 節からでした。

Praise the Lord, O my soul, all my inmost being, praise his holy name.
Praise the Lord, O my soul, and forget not all his benefit.

わがたましいよ、主をほめよ。わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ。
わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。

両先生方のメッセージが終わった後、モールグループに分かれて、各自一年間に頂いた感謝をシェアし合い、そして熱心にお祈りをもって感謝し合いました。誠にこの感謝祭に相応しい、喜びに溢れる良い集会となり、素晴らしかったです。

集会後には恒例のパイを頂く時があり、役員さん方の用意されたリフレッシュメントを感謝して頂きました。パンプキン・パイをはじめ、アップルパイ、ピカンパイなど好きなパイを選んで頂き、中にはお手製のパイもありました。楽しいとても良い交わりの時をもち感謝でした。

3. サンクスギビングデー・ディナー・パーティー (ヴォート兄弟宅にて)

サンクスギビング・デーの夕方からボウト兄弟の自宅が開放されて、サンクスギビングディナーの時がもたれました。お一人住まいの方とか、一緒に交わりたい方々とか、教会中の皆さんに声を掛けられ、温かく迎え入れて下さいました。

ターキーの丸焼きの豪華なこと、そしてお料理は皆さんから持ち寄った得意なご馳走や、デザートも沢山あって、楽しい、美味しい、お恵み豊かな良い交わりの時を持ちました。子供から大人まで45名もの方達が集まり、感謝祭にふさわしい愛に満ちたパーティー、ボウト兄弟及び、ご家族に心より感謝いたします。ありがとうございました。

ラッドとし子